

会報 こぶし

発行 花北地区コミュニティ協会
編集 総務企画部

地域づくりにご協力を



花北地区コミュニティ協議会
会長 佐藤 吉一

4月の花北コミュニティ協議会の総会で会長を仰せつかりました小舟渡の佐藤吉一です。

前会長の大久保さんは、一期でしたが、「花北地区コミュニティ計画」の策定、「花北地区コミュニティ協議会設立十周年記念式典」及びその記念誌を発刊する等、多大な実績をあげられました。本当に御苦労様でした。役員一同感謝しております。

私自身も花北コミュニティ推進協議会当時から参画し、十二年目となり事務局長、副会長を経験しましたが、まさか責任重大な会長職を拝命するとは思っていませんでした。引受けた以上は誠心誠意努める所存であります。

当協議会の事業については、先輩皆様の業績で定着してきております。特に市地域づくり交付金は各地区とも、それぞれアイデアを出し執行し、環境整備又地区民相互の交流等、地域の発展に寄与しております。

指定管理事業も定着し、昨年より当協議会で実施された生涯学習事業も順調に施行されています。

今回、役員も半数が入れ替わりましたが新体制で「花北コミュニティ計画」に従って、また各専門部会の活動を通じて、より一層の安全・安心な地域づくりに邁進して行きます。

しかし今後とも懸念される事柄も想定されます。

全国的な少子高齢化の現実は、当地区でも避けられません。

特に高齢者世帯等に対する日常生活支援は元より災害時の避難の方法等諸問題が想定されます。

今年も市では防災訓練が計画されていますが、それぞれ避難訓練等を通じて地区毎に配慮が必要で安易に解決可能とは思われません。

各地区とも自主防災会が組織されました。活動実績の有無にかかわらず、当協議会も含めて研修、訓練を通して実務に耐える努力が必要と思われれます。

まとまりのない挨拶ですが地区の皆様の御協力を戴いて会長の責務を努めますのでよろしくお願ひ申し上げます。

総務企画部会

部会長 箱崎 英喜

去る4月、花北地区コミュニティ協議会総会において、総務企画部会の部会長を拝命致しました星が丘一丁目の箱崎と申します。

5月の初部会において、副部会長に似内功孝委員（小舟渡）、書記に平澤明委員（愛宕町）、会報「こぶし」の編集長に北山六郎委

員（桜台）を選出して、部会体制を整えてスタートしました。先輩の方々から教わりながら進めてまいると思います。宜しくお願ひ致します。

今年度の部会の事業としましては会報「こぶし」の発行と研修バス旅行の実施です。

会報は年三回（7月、11月、3月）に発行致します。

この会報「こぶし」を、より多くの地区民に、読んでいただき元氣になつていただくために、紙面を、一層、充実させてまいりたいと考えております。そのために全委員が一丸となつて努めてまいります。

また10月28日には、研修バス旅行があります。三陸沿岸の被災地（大船渡・陸前高田）のその後の復興状況を視察します。定数は80人の予定です。多くの方々のご参加をお待ちしております。

花北地区コミュニティ協議会の十周年記念誌に記されていたお話の中に、「地域に根差した、まちづくりや、魅力あるまちづくりへの取り組みを、広く発信し、地域の活性化に繋げていくことを期待する」、「共に市民参加・協働の